

**令和4年 第52回NHK杯アイスホッケー大会**  
**監督会議（書面通知）高校の部**

1) 競技日程及び競技方法の確認

競技日程 : 別紙対戦表をご参照下さい。

競技規定 : IIHF国際競技規則による。ただし、コーチチャレンジに関する規則を除く。

**ゴールテンダーの制限エリアの【採用】**

ゴールテンダーは、ネット裏の指定されたエリア以外でバックをプレーしてはならない。

ゴールテンダーがゴールライン後方の指定された場所以外でバックをプレーした場合は、「ディレイ・オブ・ゲーム」によるマイナー・ペナルティが科される。

バックの位置を決めてとする。

ゴールテンダーがゴールクリーズにスケート靴を接触させたままバックをプレーした場合、マイナー・ペナルティは科されない。

①競技方法 5チームによるトーナメント戦

競技時間は、各ピリオド正味20分とし、ピリオド間、整氷を行う。

練習(10分)→整氷(10分)→1P(20分)→休憩(10分)→2P(20分)→休憩(10分)  
→3P(20分)

②ランニングタイムの適用

◎10点差以上の得点差がついた時点で次のフェイスオフ後のゲームタイムはランニングとする。

◎点差が縮まった場合でも継続する。

◎次の場合は時計を止めるものとする。

A.得点した場合、時計を止める。

レフェリーがゴール・アシストを報告した時点でスタート。

I.ペナルティーが発生した場合、時計を止める。

背番号とペナルティー時間を表示する。

フェイスオフでバックがドロップされたらスタート。

U.選手が負傷し、交代に時間を要する場合や、チームからの質問などで時間を要する場合など、レフェリーの指示で時計を止める。

次のフェイスオフでスタートさせる。

◎反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。

③第3ピリオド終了時点の場合は、3分間の休憩後に3on3方式による5分間のサドンデスの延長戦を行う。

尚、決しない時は、IIHF規定によるPSS(5名)で勝敗を決定する。

5名で勝敗が決しない時は、最初の5名を含め、6人目からはサドンデス方式で勝敗を決定する。

④タイムアウトを認める。

⑤オールメンバー表の提出

オールメンバー表の提出は、試合開始30分前までにオフィシャルボックスに提出して下さい。

⑥試合前の練習

練習は10分間とし、練習終了後整氷を行い、試合開始とする。

⑦選手控室及びベンチ並びに移動

・ベンチは、対戦表の左側のチームがオフィシャルボックスから見て左側のベンチを使用して下さい。

・コロナ対策で排気ファンの運転に伴い、中央ドアとA～D控室通路入口は閉鎖となり通行不可です。インターバルなどで控室・ベンチへの選手、スタッフの移動は、左側大扉出入口のみとなりますのでご協力の程よろしくお願ひします。

控室⇒ベンチ 3分前ブザーで、左側チームの後に右側チームがベンチへ移動して下さい。

ベンチ⇒控室 インターバルで、左側チームの後に右側チームが控室へ移動して下さい。

## 2) コロナウイルス感染症対策

大会参加同意書の提出(監督コーチ以下登録選手全員)

「健康チェックシート」の提出(当日の試合でベンチ入りする全員)

・体温測定は、1週間前から記録した用紙を提出して下さい。

・試合終了後にはオフィシャルから受取り、次の試合まで記録し、次の試合日に再度提出して下さい。

尚、「感染症対策マニュアル」・「大会参加同意書」・「健康チェックシート」は、道ア連・釧ア連HPを参照下さい。

また、スタッフ・選手は、正面玄関横の自動ドアから入場してリンクサイドを経由して控室へ行って下さい。退場時も同様です。入退場する際の動線を周知徹底して下さい。

## 3) 今大会は、**限定付き無観客試合**といたします。

・観戦される方は検温・手指消毒・マスク着用をお願い致します。

なお、観戦される方は、1週間前からの健康観察を行い「健康チェックシート」へ記入し、会場へ持参しチェックを受けて下さい。

また、入場時には「緊急時連絡票」に氏名・連絡先を記入し、回収箱に入れて下さい。

「緊急時連絡票」は会場に用意していますが、釧ア連HP各種様式フォルダ内から用紙をダウンロードし事前に記載した用紙を提出されてもよろしいです。

・観戦者は**下図**で指定されたエリアで観戦し、リンクサイドでの観戦・写真撮影は禁止とします。チーム関係者は、観戦者に周知徹底と共にご協力の程よろしくお願い致します。

